

和合

No.88
2012.8.20

題字：三浦修次



主な掲載記事

- 和合ってどんなところ……………2
- ふるさとを想う……………2
- 年中行事（行事食）……………3
- 和合の里のお地蔵様……………3
- 老いないために……………4
- 和合の交番……………4
- 亀治からのメッセージ……………5
- せんせいあのね！……………6
- 私の健康・健康レシピ……………7
- 地域インフォメーション……………8

あと一回!!

和合ってどんなところ



狩川保育園 藤井真紀子 先生

第四小学校の築山に登ると、周りは広々とした田んぼだった。築山の上で子ども達は、遠くを指さして自分の家があるところを一生懸命教えてくれた。農作業をしている人がいると、その人に向かってみんなで手を振った。驚いたのは、それが何の作業か、農機具はなにか等、必ず詳しい子どもがいて、得意げに私に教えてくれることだった。第四学区ではいつも生活のそばに米作りがあって身近な存在なのだ。子ども達は、家族の仕事に誇りを感じ、親しみを持っている。きっと園児達も20年後には、何人かがトラクターに乗る素敵な青年になり、第四学区の伝統文化を受け継いでいくのだろう。

第四幼稚園での思い出は、たくさんある。その一つ一つに園児達の素直で明るい顔と一緒に、地域の人や保護者の方の笑顔がある。

何か始めようとする、地域の方や保護者の方が必ずそれに応じてくれ、手助けして下さった。

冬は地吹雪の真ただ中になる第四幼稚園だったが、ある月曜日の朝幼稚園に行くと、玄関に子ども達の大好きなキャラクターの雪だるま(雪像)が登場していた。子ども達に内緒でプレゼントしてくれた方がいたのだった。その方達はきっと休日の貴重な時間を割いて園児達が喜ぶ顔を思い浮かべながら作ってくれたのだろうと思う。雪だるまと一緒に記念写真を撮った子ども達の嬉しそうな顔が忘れられない。

ふるさとを想う

小林 勇さん (前田野目出身 千葉県在住)

春は山菜、夏は岩ガキにだだちゃ豆、秋はどんがら汁と山形を売って38年。小さな店のノレンには「庄内」と千葉県は市川にある私のお店です。年に3回くらい、県人会も行っています。ただ参加者のほとんどは60才より上の方々です。その一人松嶺出身(旧松山町)で96才のおじいちゃんは、この歌しか歌わないのかと思うほど山形県民歌を来るたびに上手に歌います。また、集まった人々は皆最後は自分が生まれた町や村の自慢になるから不思議です。もちろん私もその一人。

実家に帰ったら必ず行く羽黒山。6時半ころ車で前田野目を出て7時から始まる朝一番のご祈祷を受けます。人気もない静まりかえった山頂は夏でも寒い位の空気が肌に心地よく大好きな一瞬です。人生の半分というには大分過ぎ去った今、上京しての約50年には忘れた事やところはあけれど……。全校生で行った最上川での芋煮会、運動会と18才迄過ごしたふるさとの四季、日々の生活は鮮明に思い出されて来る今頃、私だけなのか……65才になった年令がそうさせるのか。ふるさとがある事に感謝して。

まぼの年中行事

●モリ供養(八月)

庄内地方盆開けの20日過ぎから、死者の霊が留まると考えられているモリ、あるいはモリノヤマと呼ばれる里山や森に花や供物を持参し、諸道を巡拝し、死者の供養を行う行事である。民間信仰や人生儀礼を理解する上で貴重な習俗であるとの評価から、平成12年度、文化庁より無形の民俗文化財に選択された。

●水番

春の堰堀り、夏はモク刈り等がある。その支線堰は他の町や部落の管理地を通じて水が流れてくるので、夏の渇水期には「上げ」を利用して外の水系に流される(盗水)事がしばしばである。それを防止するために「堰上り」といって二、三人の輪番制で上流迄水路を見回しする。要所には、ごさを敷いて一晩中水番をしたとの昔話もある。

余目町の民俗年中行事より抜粋

★赤飯★

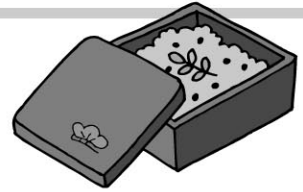
【材料】もち米 1升 小豆 1合(もち米の1割)

【準備しておくこと】

・小豆は洗ってたっぷりの水でゆで、煮立ったら水を捨て、小豆の4倍の水を加えて10分煮、冷めるまでそのままにしておいて、もち米は洗って水を切り、小豆のゆで汁に水を加えた中に一晩つける。

【作り方】

- ① 蒸す30分前にもち米の水を切り、小豆を混ぜる。
- ② 蒸し器に湯を沸かし、敷き布は湯に浸し、きつく絞っておく。
- ③ 蒸し器に敷き布を敷いてもち米を入れ、平らにならして中央をくぼませ、蒸し器のとおりをよくする。
- ④ 強火で20分ほど蒸したらボウルにあげ、打ち水をする。むらがないように、よく混ぜ合わせる。
- ⑤ 敷き布を洗って同様に蒸す。蒸気があがって10分位で蒸しあげる。



～大和の行事食より～

和合の里のお地藏様

南野編

〈語り手〉原田 勝さん(新町地藏様会長)

水尾 正昭さん

南野村の始まりは、もと明石(赤石)村と称して今の連枝部落の西方にあった。当時の最上川の沿岸にあつて、灌漑の便が悪く、また最上川の水勢一変して耕地を決壊させ、永住の地ではなかつたと言われている。

現在、御堂がある周辺地は赤淵があつたとされていて、南野部落では新町といわれている。赤淵新田が現在地に移住したとき、同村鎮守の社殿をもらったとされていて、赤淵新田(藤原村ともいった)の開発は元禄元年といわれている。新町で地藏様を安置したのはおそらくその頃ではないか…。

境内地内にある石地藏様はいずれにしても、子どもを守る「はしか送り」といって米俵のふたの部分にあずきご飯をあげ、とされていて、子どもを授かつたり、病に掛かつた時には「赤ぼんでんを立てて、お祈りした。」

御堂の中にも、二体安置されているが、白木のもは江戸時代、黒ずんでいる地藏様は室町時代のもので南野に現存するものでは、最古のものといわれている。また観音様も地藏様とともに広く信仰されている。

〈聞き手〉富樫



イラスト：工藤昭子

老いないために!!

介護予防① 転倒予防体操で足を丈夫に!!

◎転倒の原因と考えられる事…

- 関節・筋力の衰え
- バランス感覚の低下
- 視力・聴力の低下
- 神経の動きの衰え
- 薬の副作用
- 外的環境 等



◎転倒を予防するために自分で出来る事…

- ストレッチ体操
関節の動きが良くなる
- 筋力トレーニング
筋力・バランス能力が改善

◎体の重みを利用して下半身を鍛える…無理のない範囲で続けてみましょう

- ①階段を上がる動作が楽になる【足の上げ下げ 10~15回×1日2~4回】
いすに浅く腰かけ、両手を太ももの上に置き、ゆっくり足踏みする。
- ②バランス能力を高める【つま先・かかと上げ下げ 10~15回×1日2~4回】
両手で安定した物につかまり、両足のかかとを上げゆっくり下げる。
次に両足のつま先を上げゆっくり下げる。

高齢者総合相談窓口(介護相談・心配事などお気軽にご相談ください)

庄内町地域包括支援センター
(介護センターほほえみ内)
TEL 45-1030

庄内町地域包括 立川サブセンター
(庄内町役場立川庁舎内)
TEL 51-2505

和合の交番



防ごう! 山での遭難事故!!

○平成23年中の山岳遭難の発生状況
発生**61**件(75名)、死者**7**名



- ひとりでは行かず、行き先、帰宅時間を家族に告げ、早立ち早帰りをしましょう。
- 熊鈴・ラジオ・食料・雨衣・携帯電話・その他必要な装備、資器材を忘れずに携帯しましょう。
- 体調の悪い時は山に入らないようにしましょう。健康状況と気象条件をチェックし、少しでも不安があれば勇気を持って途中でも中断し下山しましょう。
- 道に迷ったらむやみに動き回らず、見晴らしの良い場所で助けを待ちましょう。
- 携帯電話を持っていれば、電話が通じるところで助けを呼びましょう。
- 登山計画は提出しましたか。登山計画はあなたの命綱です。

亀治からのメッセージ

亀ノ尾の里資料館

●企画展「北楯大堰の歴史」開催しています。

企画展「庄内町の絵馬」には、たくさんの皆さんにご来館いただきありがとうございました。亀ノ尾の里資料館では、引き続き企画展「北楯大堰の歴史」を開催しています。

庄内町の基幹産業である米作りを支えている「堰」。今から400年前、北館大学利長が点在する池や沼の水を利用して田畑を耕作しているに過ぎなかったこの地に堰を開削しました。今回の企画展は、「北楯大堰」開削400年を記念し、その歴史を振り返るもので、北館大学利長の人物像や北楯大堰ができるまでの流れ、現在の様子などを紹介しています。

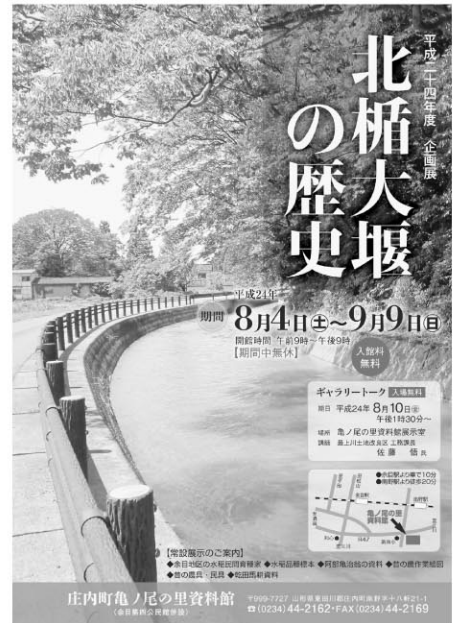
この機会にぜひご来館ください。

●バケツ日記



バケツ稲の栽培、今年で3年目を迎えました。昨年に引き続き「亀ノ尾」と「つや姫」を植えています。ブログでも紹介していますが、今年はバケツにおたまじゃくしが発生したり、毎年さまざまなドラマがあります。来館者の方からは、「亀ノ尾とつや姫、随分長さが違うの～」など、その違いに気づく方も。

今年も実るでしょうか？ お楽しみに!!

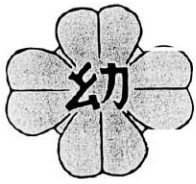


歴史民俗資料館

7月1日から開催している「太田義一展」には、たくさんの皆さんにご来館いただいています。地元狩川出身の画家の作品展ということで、関心が高いようです。今年度は、2ヶ月間の開館ということで、開催期間も残りわずかとなりました。まだ見ていない方は、お急ぎご来館ください。また、休館中、常設展をご覧になりたいという方は、亀ノ尾の里資料館までご連絡ください。(☎44-2162)

亀治の目

「ハグロトンボ」を見た。生まれて初めて見たのは10年位前だろうか？ 真っ黒で蝶のようにひらひら飛ぶ姿を見つけて感動し、子どもたちと図鑑を調べた記憶がある。水のきれいなところに生息するらしい。一見、緑の田んぼが広がり、堰が流れる風景をみて庄内町は「自然豊かな町」と思っていたが、童謡に出てくるようなメダカやホタルの姿は見えない。5年間農薬を使わず、有機栽培をしている三川町の田んぼでゲンゴロウの幼虫が見つかったと聞いた。将来、まだ見たことのないタガメやゲンゴロウが近くの田んぼで泳ぐ姿を見てみたい。



よつぱっこ通信 第四幼稚園

せんせい、あめね!

～はらぺこファームまで往復4キロ 歩いた歩いた!!～

6/28(木)快晴。風が心地良かった。連枝のはらぺこファームまで、ボランティアのお父さん、お母さんと一緒に園外保育に出かけた。年中・年長ペアになって歩け歩け。南野のソーナまで20分。グラウンドの桜の木の下でひと休み。冷たいゼリーを一口食べ、パワーアップ。さあ、あと半分。踏切を越え、赤淵新田を通り抜けると、ラズベリー畑に建つテントが見えた。「もう少しだよ!」の声と、はらぺこファームのお父さん、お母さんが手を振る姿が見えた途端、急に足取りも軽くなった。

赤いかわいいラズベリーの実がいっぱい!! 優しくそーっと引っ張ると「スポッ」ととれ、パクッと食べると「あま〜い!!」赤くて、おいしそうなラズベリーを見つけて畑の中を行ったり来たり。「これもおいしいよ」思わず笑顔になる。ラズベリーのお茶もごちそうになり、お母さん達も暑さを忘れてほっと、一息。

お昼は、赤淵新田の神社の木陰でおにぎりを食べた。荒木部落会長さんから公民館を急ぎよ開けてもらいトイレもお借りした。地域の方々にお世話になりながら、楽しい1日だった。



帰りは、暑くて遠くてだんだん無口になっていったが、地下道をみたら途端に復活。

今回の道のりで一番の人気は、地下道だった。涼しくて、声が響いて、初めての地下道がとても気に入ったみたい。暑い中、歩いた歩いた。頑張った、頑張った。子ども達はすぐに復活。元気いっぱい。翌日の筋肉痛は、ボランティアのお母さん達だった。

幼稚園の耐震・大規模改造工事〈続報〉

現在は、園舎の外壁ができてきた。とっても元気になるカラーのオレンジ系。光の加減で色が違って見える。子ども達は山の上から見えた時「できてる、できてる!すごーい!!」「わー、かわいい色で良かった!」と大喜び。田んぼの中の幼稚園。春・夏は、緑の中でお日様のように輝き、元気の中心地、といった感じだろうか。秋は、黄金の稲穂の中に燃え立つ、温かく輝く場所。冬は、真っ白の雪原、吹雪の中でも「幼稚園ここにあり!」と存在感を示してくれそうだ。玄関ポーチも明るい感じになり、10月上旬には完成予定。

～みんなで楽しみましょう!!～

第四小学校

和合の里ふれあい交流事業&PTA会員研修会として、すでに一次案内を差し上げております、スクールコンサート。山形県で活躍する農家(百姓)兼インディーズのローカルシンガーソングライター、須貝智郎さんとその仲間たちがやって来る。子育てや生き方について、命の尊さや今ある幸せについて...考えてみる機会になるはず♪素晴らしい歌声と語りの世界を堪能しましょう!!

日時：9月12日(水)午後2時～3時半

会場：余目第四小学校 体育館



私の健康



門脇正吉さん (沢新田)

大正二桁代に生を受け、思うに余りに早く短く、あっと云う間の歲月。これも変化のあり過ぎた時代を生きて来たからだろうか。着実に自分を見つめるゆとり等なかったからだろう。若い頃は家業に励む事を強いられ、適齢期には徴兵検査に合格する事が日本男子の本快此の上ない名誉と信じ、旧満州に出兵、一線守備よりUターンして本土の防衛に転勤、九州で終戦。その年の十月に短い期間で復員はしたものの占領下の当時は敗戦の屈辱と食糧難、生きる為の強権発動、物資の不足、忍び難きを忍び、耐え難きを耐えたものだ。

これからは高齢化社会に対応出来るよう健康第一に心掛け、他人に迷惑を掛けずに好きなゲートボールで健康と親睦を深め、部落の歴史、先人達の偉業に関心を持ちながら悠々自適に暮らしたいと思うことは虫のよい愚老の願望だ。 ~昭和62年度 余目町栄寿大学 卒業論文集より~

《平成2年大和郷土史、平成8年ものがたり余目史 上巻、平成9年ものがたり余目史 下巻、平成11年 沢新田連枝部落史と執筆活動も行ってた門脇さん。第四学区老人クラブのグラウンドゴルフ大会で見たスイングは力強く、若々しかった。「特に心掛けていることはないが、あと何年…。もう何年…と考えずに毎日を漠然と過ごしているだけ……。80歳から続けている般若心経も4,000枚を超え日課となっていて、ひよっとするとこれも若さの秘訣かな……。!! と優しく笑顔で話してくれた。》

健康レシピ

~暑さに負けず
ご飯が食べられる~ かきあげ丼



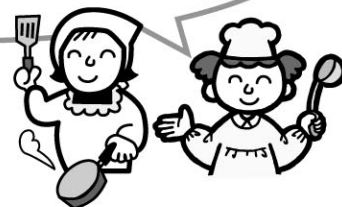
◎材料 (4人分)

玉ねぎ	100g
人じん	20g
じゃがいも	100g
するめ	10g
むき枝豆	20g
~衣~	
小麦粉	150g
卵	1ヶ
水	150cc
~たれ~	
砂糖	10g
水あめ	20g
しょうゆ	20g
水	6g

◎作り方

- ① 材料は7mm~8mmの角切りになるように切ります。
 - ② 小麦粉に卵・冷水を分量通りに加え衣を作ります。
 - ③ 180℃の油で3~4分揚げます。
 - ④ ご飯の上にかき揚げをのせ、たれをかけていただきます。
- ★ 水あめがない時は、砂糖を増やしてください。

第四学区の皆さんこんにちは!! 吉方在住の渡辺るみと四小調理師 佐藤美喜です。二人で季節の食材を使った料理を紹介していきますので、よろしくお願ひします。



地域インフォメーション!!



宝くじの 社会貢献広報事業費を受け、 整備しました!!

和合地域づくり会議では、野外でのイベントでも活用できる「会議用テーブル（長脚テーブル）」や一度に大人数分を調理し、提供することができる「調理用煮炊釜」、「氷削機（ブロックアイススライサー）」及び軽量で安易に組み立てができる「アルミワンタッチテント」等を購入しました。

部落の行事、イベントで活用できますので、是非お役立てください。

てっぺんをめざし、あきらめない!

～月山のてっぺんは庄内町! そこから見る景色の素晴らしさとやり遂げる大切さを味わってもらいたい!!

8/4(土)に Jr.カレッジWAGO!! の子どもたちと月山登山に行った～

八合目からスタート。その日も朝からかなりの暑さで、10分もするとすぐに休憩し水分補給。「もう無理!! 帰りたい!!」という声も聞こえてきた……。そんな子どもたちも、すれ違う人たちに「こんにちは～!」「ありがとうございます」と挨拶を交わしていた。どこに行っても、誰とでも自然に挨拶ができる子どもたち。うれしい気持ちでいっぱいになった。少し余裕が出て来たのか、雪渓を見ては「冷たくて気持ち良さそうだ～触りっでえ。」と景色を楽しんでいた。

下山は西川町方面。リフトをめざし夏スキーやボードを楽しむ人を横目に、雪解け水の冷たさや初めて見る景色に感動した。みんなで励まし合い、てっぺんに行ったみんなの表情には、自信とたくましさがあふれていた。



今年もやりませう!

和合の里ふれあい交流事業として、ざっこしめ!!を吉方部落会と共同でやります。バケツいっぱい魚を掴む、泥だらけの子どもたち……。

自然に笑顔がこぼれ学区全体がつながり、楽しい時間が流れます。9月吉方揚水機場にて!!

編集後記

猛暑と、オリンピックでの熱戦が繰り広げられた今年の夏。こんなに燃えるような夏は最近なかったように思う。毎晩、テレビの中継を観ては日本人選手を応援した。出場の権利を得るための努力はすさまじいものではないだろうか。結果、悔しい思いをして流す涙も、とても輝いていた……。

和合の里の子どもたち……いろいろな事に挑戦し、やれば出来る!!目には見えない可能性がたくさん詰まっている。温かい目で見守り、手をさしのべて行きたい。いつか、オリンピック選手が生まれる日が来るかもしれない!!